

ふぁみさぼ たまたま箱

おかあさんが自分の時間を持つということ
～子どもを預けることに後ろめたさを感じますか？～

ファミリーサポートセンターでは子どもを預ける理由を一切問いません。でも、おかあさん自身のリフレッシュのための利用はまだまだ少ないように思います。

子育てに疲れたら少し視点をかえてみるのもいいのでは……

- ・自分が楽しむために子どもを預けるなんて「ひどい母親だ」と思わないで、少しひとりになって素敵な時間を過ごすことでこれからの子育てが楽しくなれば子どものためにもいいことではないでしょうか？
- ・子どもにとってもおかあさん以外の人からもかわいがられ愛される経験をするのはいいことです。

子どもを預けると決めたら……

- ・別れる時に大泣きしてもおかあさんが「やっぱり、かわいそう……」と気にしたら不安な気持ちはすぐに子どもに伝わってしまいます。
- ・「ご用が終わったら必ず帰ってくるから援助会員さんと遊んで待っててね」と目を見てきちんと話をしましょう。言葉がまだわからない年齢だとしても気持ちはちゃんと伝わるはずですよ。
- ・子どもの環境に順応する力は思ったよりとても大きいものです。お迎えに行ったらちょっぴり成長したわが子に会えるはずですよ。

子育ては24時間完全無休です。昔と違って毎日子どもとだけ向きあう親子が増えています。

疲れてはてしまわないように上手に息抜きしましょうね。

そのひとつの方法としてファミサポの利用も大歓迎です。



センターからのおねがい

会員登録から5年を経過した会員の方へ登録更新のお知らせを随時発送していますが、依頼会員さんのお返事がないことが多々見られます。お忙しいとは思いますがお知らせが来たら忘れずに手続きをしていただきますようお願いいたします。



編集後記

今年の夏は、異例の猛暑でした。集中豪雨もあちらこちらで被害をもたらし、何かしら、自然や環境についてを考える機会が多かったのではないのでしょうか。安全に、健やかに生活できるように子どもを取り巻く環境を、大人の手で守りたいものです。また親が、地域が出来ること、すべきことを折にふれて考えていきたいとします。さあ、暑い夏が終わって、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋本番です。子どもの育ちに負けないように、心身ともに健康で充実した時間を過ごしましょう！

むこう…… ふぁみさぼ



今度は子育てをサポートする人になります！



ついこの前まで子どもを預ける立場
だったけど、入園したので子育てをお
手伝いする余裕ができました！
私の経験をいかします！



6月 子育てサポーター 養成講座

今年度は9名の援助会員が
新たに誕生しました。



向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002

向日市寺戸町東野辺 31

保健センター2階

TEL・FAX (075) 932-783

1

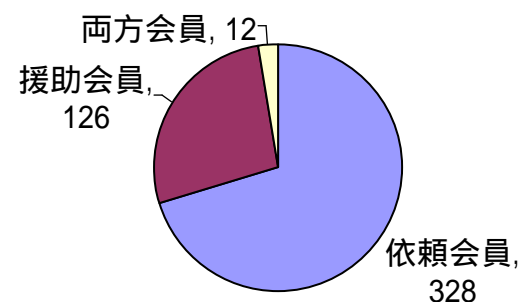




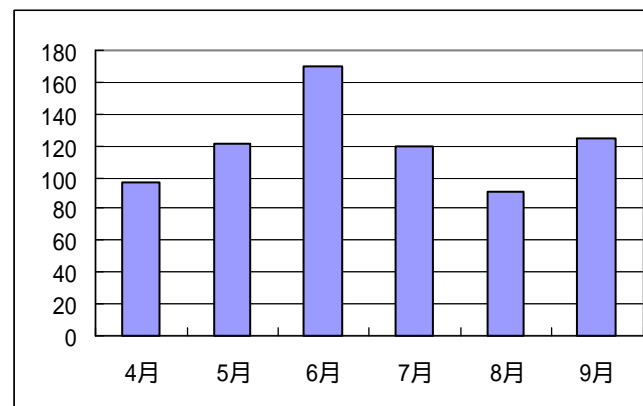
平成20年度 前期事業のようす

事業開始から6年目を迎えました。最近の傾向では、4ヶ月健診時での案内を聞いて“今後のために”と、とりあえず入会される依頼会員が増えています。反対に5年後の登録更新時には子どもの成長につれ、援助が不要となり退会される方が多いようです。更新手続きをして事業にご協力いただいている援助会員も多数いらっしゃいます。また、『子育てが一段落したから、今度はサポートする立場に』...と、両方会員になられる方も増えてきました。援助活動では、単発の活動より定期的な活動が多く、件数の上昇につながっています。

【会員数】



【活動件数】



4月 てづくりおもちゃ センター交流会



センターで大人気の段ボールや牛乳パックを使った『のりものおもちゃ』の作り方を紹介。
援助会員さんにサポートしてもらいながら『ひっぱりトラック』を完成し、ニコニコ顔の子ども達。



7月 子育てサポーター フォローアップ講座

援助会員のスキルアップを目的とし、今年度も向日消防署の協力を得て、心肺蘇生法の講座を開催しました。年々救命の方法も少しずつ改良されます。いざという時のために、正確な知識と確かな技術を身につけたいものです。
16名の援助会員さんが人工呼吸やAED(自動体外式除細動器)の使い方を熱心に実習質問される姿が印象的でした。



8月 からだほぐし センター交流会

地域でご活躍の整体師 橋本 寛子さんを講師に迎え家庭でできるツボおしや、体のゆがみなおしをご指導していただきました。子どもも赤ちゃんもそばでごろり〜んといっしょになってストレッチ。身体も心もほぐされスッキリ!のひとときでした。



9月 地域別交流会 保健師のお話 『子どものよくある事故と病気時のケア』

上植野公民館 /



寺戸公民館 /



『センターに行くにはちょっと遠くて...』そんな方のために公民館へ出向いて交流会を開催しました。向日市保健師 柴田 晶子さんを講師に迎え、子育てにも援助活動にも役に立つ『子どものよくある事故と病気時のケア』についてお話いただきました。

熱心に耳を傾け資料に目を向けるお母さん方の姿、また、やさしく子どもさんの相手をされる援助会員さんの姿が印象的でした。ふれあい遊びは大人も子どもも楽しめて、たくさんの方と交流の時間を持つことができました。

ふぁみさぼマザーズ メンバー増えています!

養成講座の新旧援助会員交流会での演奏をきっかけにいっしょに楽しみたいと思われる方の参加が多数得られました。現在のレパートリーは3曲!
「聖者の行進」「となりのトトロ」「大きな古時計」です。向日市まつりにて発表予定です。

